

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	250	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	00674 旧竹林院管理運営事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 田尾 一樹

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市旧竹林院の設置及び管理に関する条例  第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	旧竹林院管理運営事業費	

事業の概要  
平成5年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入し、天津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。  
なお、耐震改修工事を終えて、平成26年9月からリニューアルオープンをしている。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	旧竹林院を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,573	3,576	3,566	3,559	3,559	
人件費 B		4,100	4,100	4,150	4,150	4,150	
事業費合計 A+B		7,673	7,676	7,716	7,709	7,709	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,673	7,676	7,716	7,709	7,709	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
		実績		3,500	3,500	3,490	-	-	
	旧竹林院の管理運営に要する経費								
2	開園日数	日	目標	308	308	308	308	308	308
	実績		310	319	325	-	-		
年間開園日数									
成果指標	1	入園者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績		19,601	26,251	53,600	-	-	
	年間入園者数								
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	比叡山延暦寺の門前町として古くから栄え、伝統的建造物保存地区として街並みなど優れた観光資源がある坂本は、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映に伴い、更なる観光客の増加が期待されていた。	
これまでの見直しや改善等の経過	指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。これまでも様々な自主事業を展開しているが、座卓を利用したリフレクション撮影、大河ドラマ「麒麟が来る」の放映に伴い、入館者は増加傾向にある。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国指定名勝庭園や市指定文化財である茶室、四阿があり、坂本地域の観光の拠点施設であり、その価値を広く一般に公開する必要があるため。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	バスツアーによる団体客の予約が大幅に増加、SNSでの情報発信等により、入館者は前年度比104%増となった。ツアー会社からの休館日への団体予約に対応し、自主事業として開館していたことも増加の要因となった。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度の導入により効率的な運営や、様々なイベントが実施できている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本施設はSNSでの情報発信により、多くのメディアに取り上げられ、来館者数の増加でも分かる通り、坂本地域への誘客の一翼を担っている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	引き続きSNSによる情報発信を実施し、集客増加へ向けて検討を重ねていきたい。その中で、新型コロナウイルスの影響、それに伴う国・県の動向を随時把握し、徹底した感染拡大防止対策を図りながら、新たな集客手法等、指定管理者と協議、検討していきたい。
部局長コメント	周辺地域と一体となり、魅力度を付加した運営が指定管理者によって図られるように進めていくこと

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	65.33 %	87.50 %	178.66 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+33.92 %	+104.18 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-25.30 %	-50.76 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	251	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	00675 曳山展示館管理運営事業	観光振興課
		所 属 長
		川島 英和
		記 入 者
		田尾 一樹

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市天津祭曳山展示館条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	曳山展示館管理運営事業費	

事業の概要  
平成3年12月に開館、平成18年度から指定管理者制度を導入し、効率的な管理を行う。天津祭の曳山の原寸大模型をはじめ、祭を広く周知するための展示を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津祭を広く周知し、街歩き観光の拠点としての機能を発揮するため
対象 (何又は誰を)	天津祭曳山展示館を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRにより
成果 (どのような状態にするのか)	入館者が増加するとともに、天津祭の魅力が広く周知される。

## < 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	11,332	11,566	11,664	11,809	11,809	
人件費 B	2,050	2,050	2,075	2,075	2,075	
事業費合計 A+B	13,382	13,616	13,739	13,884	13,884	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,382	13,616	13,739	13,884	13,884
職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1 管理運営費	千円	目標	11,340	11,340	11,340	11,340	11,340	
			実績	11,261	11,261	11,400	-	-	
	曳山展示館の管理運営に要する経費								
	2 開館日数	日	目標	308	308	308	308	308	308
実績			308	308	309	-	-		
成果指標	1 入館者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
			実績	32,254	36,786	29,041	-	-	
	2 年間入館者数		目標						
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく 社会環境の状況	大津祭は、大津三大祭の一つであり、平成28年3月に国の重要無形民俗文化財の指定を受けたことから、大津駅舎リニューアルに伴う曳山展示や各種イベント、講座の実施等機運が高まっている。	
これまでの見直し や改善等の経過	平成22年度に映像等の大規模改修を実施し、平成23年4月からリニューアルオープンした。その後も、館内の説明パネルの多言語化によるインバウンド客への対応や、屋上防水工事等、必要な改修を実施している。	
項目別評価	評 価	評 価 理 由
妥当性 (実施主体又は 手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国の重要無形民俗文化財である大津祭の魅力を知りたせるための施設は、民間による整備は難しく、市が整備した上で管理を民間に任ずることが望ましい。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	台風の影響により宵宮が中止になる等、入館者数は減少してしまい、目標は達成できていないが、観光案内所と連携し集客に取り組みられる等、積極的な姿勢は評価できる。
効率性 (事業手法は効 率的である か。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度の導入により、効率的な運営や、様々なイベントが実施できている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要</span> <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <span style="float: right;"><input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要</span>	

施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津祭に造詣の深い団体の運営による入館者への十分な説明や展示の充実により、大津祭の周知が進んでいる。また、館内の大津祭の説明パネルの多言語化によるインバウンド客への対応や、近隣の小学生の大津祭の絵画を展示して、誘客促進を実施している。
-------------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	新型コロナウイルス感染症拡大により、入館者数が落ち込んでいるが、引き続き、来館者に対する館内案内を充実させることにより、大津の歴史と文化を伝える取り組みに努め、施設を運営していく。
部局長 コメント	宿場町構想等、各種事業と連携し積極的なPRに努めること

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標 達成率	指標 1	80.63 %	91.96 %	72.60 %
	指標 2	- %	- %	- %
成 果 増減率	指標 1	- %	+14.05 %	-21.05 %
	指標 2	- %	%	%
活動単位 コスト	指標 1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標 2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位 コスト	指標 1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標 2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-10.78 %	+27.81 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	252				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00676 温泉維持管理事業	記 入 者	下田 剛史		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市雄琴温泉供給条例 ・天津市温泉保養交流施設条例  第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	温泉維持管理事業費	

事業の概要  
雄琴温泉の旅館に対して安定して良質な温泉を供給するため、泉源を含めた温泉供給施設の適正な維持管理を実施する。温泉保養交流施設「比良とびあ」を市北部地域の観光拠点として管理運営を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津市の主要な観光地である雄琴温泉や市北部の観光拠点である比良とびあのPRと誘客増を図るため
対象 (何又は誰を)	雄琴温泉の施設や比良とびあの管理運営を
手段 (どのようなやり方で)	雄琴温泉設備については修繕や定期点検等の維持管理と、比良とびあについては指定管理者制度を導入し
成果 (どのような状態にするのか)	安定した温泉供給や指定管理者の工夫により、温泉を中心としたPRと来訪者数の増加を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		12,138	13,226	11,964	12,837	15,791	
人件費 B		4,100	4,100	4,150	4,150	4,150	
事業費合計 A+B		16,238	17,326	16,114	16,987	19,941	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	12,129	12,532	12,020	12,763	12,763	温泉使用料
	一般財源	4,109	4,794	4,094	4,224	7,178	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	雄琴温泉供給日数	日	目標	365	365	366	365	365
				実績	365	365	366	-	-
	年間温泉供給日数								
	2	比良とびあ開館日数	日	目標	360	360	360	360	360
実績				360	362	363	-	-	
年間開館日数									
成果指標	1	比良とびあ利用者数	人	目標	122,000	122,000	122,000	122,000	122,000
				実績	123,881	119,773	113,393	-	-
	年間利用者数								
	2	雄琴地区観光入り込み数	人	目標	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
実績				1,008,700	976,200	922,413	-	-	
年間入り込み数(暦年)									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	びわ湖や世界遺産比叡山延暦寺、比叡比良の山並み等優れた観光資源に囲まれ、都市近郊の観光地としてのメリットを有している。大雨等の自然災害や、新型コロナウイルスの影響で、利用者数が伸び悩んだ。		
これまでの見直しや改善等の経過	おごと温泉は、オーバーフロー配管修繕とタンク採水口の取替修繕を実施した。比良とびあは、予備ポンプの購入と露天風呂の濾過器濾材入替修繕を行った。4源泉については温泉法に基づく温泉成分分析を実施した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	温泉設備については、大規模で複雑な供給管が道路に埋設されており、また温泉の汲み上げ量は温泉全体で管理する必要があることから、複数の旅館に供給するためには市営が望ましい。比良とびあについては、地元から用地の賃借を受けている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	おごと温泉の入込客数と比良とびあの利用者数については、それぞれ前年実績と目標値を下回っている。大雨等自然災害や新型コロナウイルスの影響で厳しい結果となった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	おごと温泉の維持管理費は、温泉使用料で賄えている。比良とびあについては、指定管理者制度の導入により利用料金収入が見込めるため、指定管理料が不要であり、効率性は高い。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	毎年、一定数の入込客数を確保し、都市近郊の温泉地として本市の主要な観光地である。また、おごと温泉では入湯税収入もあり、施策に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	都市近郊の温泉である雄琴と市北部のレジャーと一体となった温泉施設である比良とびあは、大津では数少ない温泉施設であることを有効に活かし、他施設との連携等周辺地域と協力のもと集客に努める。また、温泉施設機器が老朽化しているため、温泉を安定供給できるよう機器の更新等適正に管理していく。
部局長コメント	今後も継続して、温泉設備の適正な管理と安定供給に努めるとともに、周辺地域等と連携し事業展開を図っていくこと	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	101.54 %	98.17 %	92.94 %
	指標2	100.87 %	97.62 %	92.24 %
成果増減率	指標1	- %	-3.31 %	-5.32 %
	指標2	- %	-3.22 %	-5.50 %
活動単位コスト	指標1	44 千円	47 千円	44 千円
	指標2	45 千円	47 千円	44 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率		- %	+10.30 %	-1.66 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	253	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	00678 公人屋敷管理運営事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 田尾 一樹

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市公人屋敷の設置及び管理に関する条例  第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	公人屋敷管理運営事業費	

事業の概要  
平成17年11月に公人屋敷として開設するとともに指定管理者制度を導入し、天津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	公人屋敷を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,953	3,952	3,973	3,992	3,992	
人件費 B		2,050	2,050	2,075	2,075	2,075	
事業費合計 A+B		6,003	6,002	6,048	6,067	6,067	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	6,003	6,002	6,048	6,067	6,067	
職員数(人)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	3,950	3,950	3,970	3,989	3,989	
		実績		3,950	3,950	3,970	-	-		
	公人屋敷の管理運営に関する経費									
	2	開館日数	日	目標	303	303	303	303	303	
実績		307		306	307	-	-			
年間開館日数										
成果指標	1	入館者数	人	目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
		実績		2,958	2,780	3,709	-	-		
	年間入館者数									
	2			目標						
		実績								





# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	254				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00679	文化観光振興等助成事業	記 入 者	佐藤 夏姫	

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市文化観光振興基金条例、天津市文化観光振興助成金交付要綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り	関連する個別計画	第2期天津市観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00792	文化財保存修理等補助事業	2406	文化財保護課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	文化観光振興等助成事業費	

事業の概要  
観光交流に寄与する文化財等を保存、継承、活用するための天津市文化観光振興基金を設置し、修繕等の事業経費の一部について支援している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用し、もって観光交流に資するため
対象 (何又は誰を)	助成対象事業を実施する個人または団体に
手段 (どのようなやり方で)	助成対象事業の経費の一部を助成金として交付する。
成果 (どのような状態にするのか)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用することによる観光入込客数の増加する。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		282	155	279	4,747	300	
人件費 B		2,050	2,050	4,150	2,075	2,075	
事業費合計 A+B		2,332	2,205	4,429	6,822	2,375	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	282	155	271	4,047	300	文化観光振興基金
	一般財源	2,050	2,050	4,158	2,775	2,075	
職員数(人)		0.25	0.25	0.50	0.25	0.25	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.50	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	助成金額	千円	目標	310	310	301	300	300	
				実績	282	155	279	-	-	
	個人または団体への助成金額									
	2	助成件数	件	目標	2	2	2	2	2	
実績				6	5	2	-	-		
個人または団体が実施する事業に対する助成件数										
成果指標	1	大津祭の来訪者数	千人	目標	153	153	153	153	153	
				実績	173	160	140	-	-	
	大津祭観光入込客数(大津祭曳山保存修理に係る費用助成効果)									
	2				目標					
			実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市の観光資源でもある文化財の保全、及び継承は重要なことであり、使用に伴う修繕費が所有者の負担にならないように負担軽減策を講ずることが必要である。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成8年に「大津市文化観光振興基金条例」を制定。平成10年に「大津市文化観光振興助成金交付要綱」制定。平成31年度から「大津市文化観光振興助成金審査委員会設置要綱」廃止。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	各種団体が所有する文化財の修繕費用を市が一部負担することで、文化財としての価値を保ちながら、重要な観光資源として活用することができる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	文化財の保護と利活用を、市の観光に結び付けた手法には有効性がある。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	文化財の修繕費用を一部助成することにより、文化財としての価値を損なうことなく、継続的な観光資源として利活用できている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市の歴史遺産や文化財の保全は、観光資源の確保にもつながり、重要である。
---------	--	-------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	文化財の保護や利活用に関しては、文化財保護課との協働が不可欠であり、今後も協力して効率的に事業を推進する必要がある。
部局長コメント	引き続き文化財保護課との連携により、実効性のある保護と利活用に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	113.07 %	104.57 %	91.50 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-7.51 %	-12.50 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	8 千円	14 千円	15 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	13 千円	13 千円	31 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+2.23 %	+129.55 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	255	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	00683 観光案内所管理運営事業	所 属 長
		記 入 者
		川島 英和
		田尾 一樹

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備		関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	観光案内所管理運営事業費	
事業の概要	大津市観光の玄関口であるJR大津駅、堅田駅前、京阪石山駅と、主要な観光地の志賀と坂本と石山寺に観光案内所を開設、さらには市内外のイベント等において臨時のサテライト観光案内所を設置し、観光客に対するきめ細やかな情報提供、パンフレット類の配布及びイベントのPR等を行う。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	来訪者が求める観光情報を提供するために
対象 (何又は誰を)	観光案内所を
手段 (どのようなやり方で)	設置するとともに、観光案内所や観光資源の場所を分かりやすく誘導表示を行ったり、来訪者のニーズに応えられる情報や地元でしか入手できない情報を収集し、伝えることで
成果 (どのような状態にするのか)	大津の魅力を伝え、大津ファンを増やし、来訪者の増加に貢献する。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		49,737	51,968	43,746	39,497	39,497	
人件費 B		6,150	6,150	5,810	6,225	6,225	
事業費合計 A+B		55,887	58,118	49,556	45,722	45,722	
事業費の内訳	国	0	0	2,900	3,124	206	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	2,134	2,314	2,870	2,757	2,757	大津駅レンタサイクル利用料収入
	一般財源	53,753	55,804	43,786	39,841	42,759	
職員数(人)		0.75	0.75	0.70	0.75	0.75	
職員数の内訳	正規	0.75	0.75	0.70	0.75	0.75	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	年間営業日数	日	目標	359	359	360	359	359
				実績	359	359	360	-	-
	2	年間営業日数		目標					
				実績					
成果指標	1	観光案内所利用人数	人	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
				実績	196,691	189,822	194,862	-	-
	2	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,822	13,450	12,900	-	-
		1月～12月の観光入込客数							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	個人やグループによるまち歩き型の観光が増え、着地型観光の案内が非常に重要になってきており、観光拠点に関する情報提供等受入観光整備の機能向上が求められる。	
これまでの見直しや改善等の経過	各観光案内所への誘導看板の設置や英語対応が可能な人材配置及びW I - F I の設置を行うとともに、大津駅観光案内所では平成29年度に物販スペースを拡大し、平成30年度には来訪者に商品の試食試飲を開始した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	無料のサービスであり、特定の施設や業種に偏ることなく広く情報を発信する事業であることから、来訪者は快適に滞在することができる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	観光案内所利用者数は横ばいとなっているが、目標値は大きく上回っており、大津ファンがリピーターとして継続して来訪されている
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	主要な駅や観光地に観光案内所を配置しており、利用者にとって利便性が高く効率的である。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	着地型観光情報の提供により、来訪者の滞在時間を長くすることで、観光地が活性化するとともに、市民と来訪者の交流を図ることができる。実際に、大津市内の観光施設のイベント開催時には、多くの観光客が観光案内所を利用されている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (                                      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	観光拠点の情報発信基地として受入環境整備を行うことで来訪者の満足度や利便性の向上を図り、より効率的な運営に努める。また、新型コロナウイルスの影響により、県外からの観光客が少なくなることを見据え、地元民が地元の良さを知れるイベントの提供、ニッチな観光情報の提供等を検討していく。
部局長コメント	周辺事業者等連携のもと、効果的な事業展開を図るとともに、来訪者の満足度を高める情報提供に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	163.90 %	158.18 %	162.38 %
	指標2	98.72 %	96.07 %	92.14 %
成果増減率	指標1	- %	-3.49 %	+2.65 %
	指標2	- %	-2.69 %	-4.08 %
活動単位コスト	指標1	155 千円	161 千円	137 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	4 千円	4 千円	3 千円
コスト増減率		- %	+7.30 %	-14.01 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	256	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	00686 観光振興事業	所 属 長
		記 入 者
		川島 英和
		佐藤 夏姫

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市補助金等交付規則
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する 個別計画	天津市第2期観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光振興事業費	

事業の概要  
各種団体に対する負担金や天津三大祭等の各地域のイベント経費の一部について支援している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（負担金）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進及び来訪者の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら協働による事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	観光交流事業の推進及び観光入込客数の増加

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		48,773	47,507	47,008	48,041	48,793	
人件費 B		8,200	8,200	6,640	8,300	8,300	
事業費合計 A+B		56,973	55,707	53,648	56,341	57,093	
事業費の 財源内訳	国	0	4,758	4,758	13,758	0	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	21,100	20,850	0	0	0	地域振興基金
	一般財源	35,873	30,099	48,890	42,583	57,093	
職員数(人)		1.00	1.00	0.80	1.00	1.00	
職員数の 内訳	正規	1.00	1.00	0.80	1.00	1.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	補助金額	千円	目標	56,491	56,491	56,491	48,041	48,793
		実績		44,158	47,507	47,008	-	-	
	会費、負担金、補助金総額								
2	補助事業数		件	目標	20	20	20	20	20
				実績	18	19	18	-	-
	会費、負担金、補助金延件数								
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績		13,821	13,430	12,903	-	-	
	1月～12月までの観光入込客数								
2	会議開催数		回	目標	10	10	10	10	10
				実績	20	20	20	-	-
観光戦略意見交換会議・観光協会情報交換会の会議開催回数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	花火大会や天津三大祭を目当てに訪津した来訪者を、市内周遊へと誘う仕組みづくりや、各種イベントの継続的な開催、及び実施団体の自立した運営が必要である。		
これまでの見直しや改善等の経過	補助金の交付基準の整備や、補助率の見直しなどを定期的に行い、各種イベントの継続的な開催等を妨げることなく、実施団体が自立した運営を行えるよう「稼げる」仕組みづくりが重要である。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	地域性を活かしたイベントの支援や、関係者との連携により新たな観光資源の開発や地域振興への貢献が期待できる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	宿泊、日帰りともに本市への来訪者数は1,300万人近い入込客数を維持し続けており、有効である。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域の歴史や文化に根ざした各種イベントを、地元の方々や事業者が中心となって行うことで、市が主体となって行うよりも行事の継続性や主体性が期待できる。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	集客力のある三大祭や花火大会等の地域イベントへの支援や補助事業を行うことで、広域的な集客が可能であり、来訪者の増加につながる。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	三大祭や花火大会等の集客力のある地域イベントに、支援や補助を継続して行うことで広域的な集客が可能であるが、新型コロナウイルス感染症対策における「新しい生活様式」に即した形での開催方法の模索や、引き続き自立した運営が図れるような観光資源の開発等に継続的に取り組んでいく。
部局長コメント	各種団体と連携し、天津三大祭への補助等、積極的な支援に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	98.72 %	95.92 %	92.16 %
	指標2	200.00 %	200.00 %	200.00 %
成果増減率	指標1	- %	-2.82 %	-3.92 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	3,165 千円	2,931 千円	2,980 千円
成果単位コスト	指標1	4 千円	4 千円	4 千円
	指標2	2,848 千円	2,785 千円	2,682 千円
コスト増減率		- %	-1.08 %	-2.12 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	257		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	01931 観光交流推進事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	松本 久孝

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光交流推進事業費	

**事業の概要**  
 平成29年度から平成32年度までを期間とする第2期大津市観光交流基本計画では、4年後の目指す姿として「選ばれる観光地」を掲げている。同計画に基づき、他の観光地と差別化できる大津ならではの良さの磨き上げを行い、オンリーワンのびわ湖を基調とした3つのテーマ（びわ湖リゾート、歴史・文化体験の宝湖、スポーツ観光の聖地）に沿って様々な施策に取り組む。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（会費負担）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進や観光客（来訪者）の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。市内に点在する観光資源等を活用する。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	本市の知名度向上とともに、観光入込客数が増加し、市内周遊が促進され、観光消費額が増加する。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		55,228	53,989	51,946	37,261	108,247	
人件費 B		22,015	26,125	26,435	26,435	26,435	
事業費合計 A+B		77,243	80,114	78,381	63,696	134,682	
事業費の財源内訳	国	4,898	18,222	3,393	11,125	9,250	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	614	0	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	72,345	61,892	74,988	51,957	125,432	
職員数(人)		3.00	3.50	3.50	3.50	3.50	
職員数の内訳	正規	2.50	3.00	3.00	3.00	3.00	
	嘱託	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	負担金額	千円	目標	6,650	6,650	6,650	25,065	65,860
		実績		12,172	12,310	37,090	-	-	
	会費、負担金、補助金総額								
	2	負担金及び補助金の件数	件	目標	7	7	7	7	7
実績		8		8	11	-	-		
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績		13,822	13,430	12,903	-	-	
	1月～12月の観光入込客数								
	2			目標					
			実績						

< 5. 評価 > CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	第2期観光交流基本計画に基づき「えらばれる観光地」を目指して、滞在時間の延伸と観光消費額の増加につながる取り組みを推進しているが、年度後半における新型コロナウイルス感染症の影響は非常に大きかった。		
これまでの見直しや改善等の経過	KPIの数値を年次ごとに検証し、同計画の進捗について随時確認を行う。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	観光関連事業などが主体となり、継続的な取り組みに繋がっている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	31年4月上旬まで閑空連絡橋が通行止めであったことなどから観光入込客は全体的に伸び悩み、目標の数値には達していないが、平成30年度と比較し微減であり、一定の成果は上がっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市内の周遊促進やSNS等の情報発信について幅広いコンテンツで本市の魅力を積極的に発信している。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	社会的要因による悪影響は大きいですが、市内観光資源の魅力や価値の再認識・活用により、更なる観光客の誘客促進につながる方向で着実に反映されている。
---------	--	--

< 6. 今後の方向性 > ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	第2期観光交流基本計画の終期にあたり、新しい生活様式などアフターコロナにあわせバランスの取れた国内・国際誘客策を新たに検討する。検討に当たってはMICE誘致を含め、日本遺産認定された琵琶湖疎水、坂本をはじめとする歴史の残る地域、ピワイチなど本市の観光資産を継続して活用していく方向で市内の着地型周遊の充実を目指す。
部局長コメント	基本計画に基づき、滞在時間の延長と観光消費額の増加に向けて、観光関連事業者に対して今後も効率的な支援を図ること。	

< 7. 評価分析 > ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	98.72 %	95.92 %	92.16 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-2.83 %	-3.92 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	6 千円	6 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	5 千円	5 千円	6 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+6.74 %	+1.83 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	258				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	02121	おごと温泉観光公園管理運営事業		記 入 者	下田 剛史

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市おごと温泉観光公園条例  第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	おごと温泉観光公園管理運営事業費	

事業の概要	大津市の主要な観光地であるおごと温泉エリア内に、来訪者に癒しと交流の場を与えるため、足湯や公園及び地元物産の展示販売、飲食の提供、周辺の観光案内を行う新たな観光拠点を整備し、指定管理者制度導入による効率的な運営とおごと温泉への誘客増を図る。
-------	--

運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	---

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	おごと温泉への誘客増と地域住民や観光客の交流を促進するため
対象 (何又は誰を)	おごと温泉観光公園を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	おごと温泉観光公園やおごと温泉に多くの観光客が訪れ、地元物産を購入し、帰られた後もおごと温泉をPRしていただけるようにする。

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		17,959	17,945	16,844	16,810	16,899	
人件費 B		4,100	4,100	4,150	4,150	4,150	
事業費合計 A+B		22,059	22,045	20,994	20,960	21,049	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	196	204	167	203	203	自主事業収入還元金
	一般財源	21,863	21,841	20,827	20,757	20,846	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	開場日数	日	目標	358	358	359	358	358
				実績	360	360	360	-	-
2				目標					
				実績					
成果指標	1	おごと温泉観光公園入り込み客数	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
				実績	65,935	65,722	54,796	-	-
2		年間の入り込み客数		目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市の主要な観光地である雄琴地区は、都市近郊にありながら温泉を有し、また世界遺産である比叡山延暦寺や歴史的景観に優れた坂本地区に近く、多くの観光客が訪れる。			
これまでの見直しや改善等の経過	平成23年2月の開設と同時に指定管理者制度を導入、効率的な維持管理に取り組んでおり、指定管理者による様々な誘客策が講じられている。平成31年度は自動ドアとパコチンヒーターの修繕を行った。			
項目別評価	評価	評価理由	理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	宿泊客のみならず日帰り客や来訪者等も対象にした施設で、足湯や地元物産の展示等、雄琴地域を中心に近隣の観光地をつなぐ拠点であり、観光情報の発信基地である。  指定管理者が各種集客イベントを実施しているが、施設の設備トラブルが続いた結果、前年実績と目標を下回っている。  公園、足湯、物産展示、観光案内等の複合施設であることから、指定管理者を導入することで、より効率的に管理できている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本の見直しや廃止が必要			

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	雄琴地域を中心に近隣の観光地をつなぐ拠点であり、観光情報の発信基地として機能しており、来訪者や近隣住民の交流の場となっている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	来訪者を増加させるため、関係機関と連携し魅力的なコンテンツを充実させていく。
部局長コメント	コンテンツの充実等による積極的な運営が、指定管理者によって図られるよう進めていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	82.41 %	82.15 %	68.49 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-0.32 %	-16.62 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	61 千円	61 千円	58 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+0.26 %	+14.22 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	259				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	02615	インバウンド国際観光推進事業	記 入 者	山田 創	

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	02	インバウンド観光への情報発信		
重事	01	インバウンド事業の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	インバウンド国際観光推進事業費	

**事業の概要**  
 増加傾向にある外国からの来訪者に対し、情報発信及び受入体制の整備を図り、来訪者の増加及び滞在時間の延長から観光消費額の増額を通して、地域の活性化を図る。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（負担金）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	来訪者数の増加及び滞在時間の延長のため
対象 (何又は誰を)	外国からの来訪者
手段 (どのようなやり方で)	情報発信や受入体制の整備により
成果 (どのような状態にするのか)	観光消費額が増加し、地域の活性化につながる。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		73,861	49,419	38,568	2,900	31,745	平成30年度は債務負担
人件費 B		28,165	32,275	30,585	30,585	30,585	
事業費合計 A+B		102,026	81,694	69,153	33,485	62,330	
事業費の財源内訳	国	19,305	10,716	10,716	1,150	1,150	30→31債務負担有
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		82,721	70,978	58,437	32,335	61,180	
職員数(人)		3.75	4.25	4.00	4.00	4.00	
職員数の内訳	正規	3.25	3.75	3.50	3.50	3.50	
	嘱託	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	目標	36	36	36	36	36
				実績	88	68	34	-	-
	市政府、団体、旅行会社などの現地セールス及びFAMツアーの実施								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	外国人宿泊者数	千人	目標	210	210	210	210	210
				実績	208	205	197	-	-
	市内宿泊施設への外国人宿泊者（滋賀県観光客入込状況調査）								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	コロナ禍により、壊滅的なダメージを受けたインバウンド需要を、収束後速やかに元の水準以上にジャンプアップできるような施策が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成28年度から台湾、タイ、フランスをターゲット市場として、認知度向上のためトップセールスやツアー、旅行博出展などの取組みに加え、フェイスブック等のSNSを活用した情報発信を展開している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	コロナからの回復を目指し、東京オリンピック、関西ワールドマスタース、大阪万博などの国際イベントを契機に、積極的に事業を展開していく。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	本市外国人宿泊客数の増加傾向が鈍化しているが、滋賀県や近畿圏内と比較すると順調に推移していることから、一定の成果が上がっている。今後はコロナの影響により、どのような傾向を辿るか注視する。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信を行うなど、インターネットを通して効果的に本市の魅力を現地の人々へ届けることが出来ている。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	海外の現地旅行会社等に加え、フェイスブック等のSNSを活用した現地への情報発信の取組みにより、ターゲット市場における本市の認知度が向上するとともに、本市を含むツアーが造成されるなど、着実に反映されてきている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	コロナ収束後の観光業は、マイクロツーリズム、国内、海外の順に誘客に取り組む必要がある。観光需要全体を元の水準以上まで戻すためには、インバウンド需要の回復が不可欠であり、適切な時期に効果的な施策を実施していく。
部局長コメント	コロナ収束後を見据え、MICEの推進につながる環境の整備等に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	99.04 %	97.61 %	93.80 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-1.44 %	-3.90 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,159 千円	1,201 千円	2,033 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	490 千円	398 千円	351 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-18.75 %	-11.91 %



# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	260	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	01389 (公社)びわ湖大津観光協会運営補助事業	所 属 長 川島 英和 記 入 者 佐藤 夏姫

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市補助金等交付規則、(公社)びわ湖大津観光協会運営補助金交付基 第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	03	広域観光プロモーションの充実		
重事	01	情報の収集、分析及び発信	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	(公社)びわ湖大津観光協会運営補助金	

事業の概要  
公益社団法人びわ湖大津観光協会の人件費等にかかる運営補助金及び宣伝事業・イベント開催にかかる経費を支援している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津市における観光資源を開発し、来訪者の誘致促進を図ることにより、観光事業の健全な発展と観光を通じた地域経済の活性化及び文化の振興並びにインバウンドを推進するため。
対象 (何又は誰を)	公益社団法人びわ湖大津観光協会
手段 (どのようなやり方で)	協会の運営事業(人件費等)、宣伝事業、イベント開催にかかる経費を支援する。
成果 (どのような状態にするのか)	公益社団法人びわ湖大津観光協会運営事業の拡充を図ることによる観光交流の推進及び観光入込客数の増加

## < 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		75,377	73,561	63,695	62,309	62,531	
人件費 B		4,100	4,100	8,300	8,300	8,300	
事業費合計 A+B		79,477	77,661	71,995	70,609	70,831	
事業費の内訳	国	0	2,424	756	3,379	879	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	9,891	8,785	0	3,764	0	地域振興基金等
	一般財源	69,586	66,452	71,239	63,466	69,952	
職員数(人)		0.50	0.50	1.00	1.00	1.00	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	補助金額	千円	目標	78,715	77,684	78,715	62,309	63,410
				実績	75,377	73,561	63,695	-	-
	(公社)びわ湖大津観光協会に対する補助金額								
2	補助事業数		件	目標	12	12	12	12	12
				実績	11	11	9	-	-
補助対象事業数									
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,822	13,430	12,903	-	-
	1月～12月までの観光入込客数								
2	実施イベント観客数		千人	目標	455	455	455	455	455
				実績	499	398	368	-	-
びわ湖大津マザレ祭り(※一日中止)									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市観光行政の発展に寄与すべく、観光協会の安定的な運営と事業実施の為に補助金を支出しているが、自主財源の確保や自主事業の立ち上げ等が喫緊の課題である。	
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助制度適正化方針等に基づき、平成24年度から随時補助制度の見直しを行っている。令和元年度からは2本の事業補助金が自主財源へ移行した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	当協会は、本市の観光振興に寄与することを目的に設立された公益社団法人であり、観光事業に携わる事業者が構成員となっている。観光事業を協働して進める相手方としては妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	令和元年度については台風等によるイベントへの大きな影響があった中、市内来訪者や実施イベント観光客数を一定数以上維持しており、成果は上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	観光事業者により構成され、観光に特化した事業推進が可能な当協会が地域や他団体と協力して事業を実施することは効果的、かつ効率的である。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	協会が地域や事業者との窓口になることで、市の施策が効率的に実施できている。
---------	--	---------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	行政と協会の役割分担を明確化し、今後も相互に協力しながら、効果的な連携及び情報共有を行っていく。また、補助金の適正化を図りつつ、自主財源の確保につながるよう、協会のメリットを活かした自主事業を展開していけるよう促していく。 連携を密にし、効果的な事業推進を図ること。また、当該協会の自立性を高めるため、自主財源の確保等についても検討を続けること。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	98.72 %	95.92 %	92.16 %
	指標2	109.67 %	87.47 %	80.87 %
成果増減率	指標1	- %	-2.83 %	-3.92 %
	指標2	- %	-20.24 %	-7.53 %
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	7,225 千円	7,060 千円	7,999 千円
成果単位コスト	指標1	5 千円	5 千円	5 千円
	指標2	159 千円	195 千円	195 千円
コスト増減率		- %	+11.53 %	-1.62 %

# 令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	61		
部 局 名	市民部	所 属 名	市民スポーツ課
事務事業名	03400 国際スポーツ大会等招致事業	所 属 長	足立 寿通
		記 入 者	牧野 淳

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市スポーツ推進計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	04	スポーツ観光の推進		
重事	01	大津の特長を活かしたスポーツの推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	国際スポーツ大会等招致事業費	
事業の概要	国際スポーツ大会等の開催を契機に、チームキャンプ地等の招致活動やホストタウン事業の推進を通じて、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るなど、スポーツを通じた観光を推進する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	国際スポーツ大会への機運を高めるために
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	国際スポーツ大会の啓発イベントの実施やホストタウン交流事業を推進することにより
成果 (どのような状態にするのか)	参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,688	2,569	45,671	5,000	14,844	
人件費 B		1,148	2,050	10,292	6,474	6,474	
事業費合計 A+B		2,836	4,619	55,963	11,474	21,318	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	3,624	0	0	
	一般財源	2,836	4,619	52,339	11,474	21,318	
職員数(人)		0.14	0.25	1.24	0.78	0.78	
職員数の内訳	正規	0.14	0.25	1.24	0.78	0.78	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	啓発イベント・交流事業の実施回数	回数	目標	6	6	6	3	6
				実績	6	4	18	-	-
国際スポーツ大会の啓発イベント及びホストタウン交流事業の実施延べ回数									
成果指標	1	啓発イベント・交流事業の参加人数	人	目標	3,000	3,000	3,000	1,500	3,000
				実績	4,087	11,356	18,989	-	-
各事業の参加延べ人数									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリ・パラ、ワールドマスターズゲームズ2021関西等の開催により、市民のスポーツに対する関心、機運は高まりつつある。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成28年度にボート競技を切り口としたデンマーク王国とのホストタウンとして正式に登録された。平成31年度は、ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地としてウェールズ代表、フィジー代表を受け入れた。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本市がホストタウン登録しているデンマーク王国との交流が進んでいる。ラグビーに関しては、本市がワールドカップ公認チームキャンプ地としてチームと市民との地域交流を実施することで、市民のスポーツ意識の醸成・機運を高めることに寄与した。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	スポーツのみならず、文化的な交流事業も実施することにより、国際スポーツ大会等を広く周知する絶好の契機となっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	実行委員会形式で実施しており、効率的である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	スポーツを通じて、デンマークや諸外国と交流する事によって、市民のスポーツに対する関心を高めることができています。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	国際スポーツ大会の周知・啓発を継続・推進していくことで、市民の国際スポーツ大会への関心・機運を高めていく。交流事業やPR活動などを官民連携しながら、継続実施していく。令和2年5月に、新たにニュージーランドがホストタウン登録されたことから、ボート競技等を通じて、交流事業等に取り組んでいく。
部局長コメント	各国との交流イベントについては、地域や関係する各競技団体・関係機関等とも十分に連携を密にし、PR活動も含め、市民との交流事業が円滑に実施できるよう調整すること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1 136.23 %	378.53 %	632.96 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	+177.85 %	+67.21 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 472 千円	1,154 千円	3,109 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 0 千円	0 千円	2 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-41.38 %	+624.56 %